

三年生になって4ヶ月、卒業まで8ヶ月。

4月から今日までの前期前半を振り返ってみて、どのようなことが印象に残っているでしょうか。

4月、ドキドキのクラス替え、新しい仲間との出会い。1年ぶりの授業参観。5月・6月、戸惑うこともあったけれど初めての取り組みに挑戦し、最後までやりきった太西フェスタ。切り替えて臨んだ中間考査。7月、進路学習。特別攻撃隊から考える平和学習。大きな行事でなくても友達と笑ったり、一人悩んだりしたこと。様々あったことだろうと思います。

部活動生は、引退試合での皆さんの勇姿を顧問の先生から聞きました。惜しくも引退になった部活動が多くありますが、これからコンクールや大会を控えている皆さんは、どうか一日でも長く、力を出し切ってほしいと思います。

中学校生活はまだまだ続くように感じますが、あと8ヶ月で皆さんは巣立っていきます。先生たちは、皆さんが卒業するとき、やっぱりゴールは一人ひとりが自分らしく堂々とはばたいてほしいと願っています。残りの8ヶ月、大人になっても覚えているくらい楽しい瞬間がまだまだたくさんあるでしょうし、これまでの人生最大の決断に迫られることがあると思います。だから、まだまだ先のこととせず、準備するものを人任せにせず一つひとつ乗り越えていき、この一年を走り切りましょう。

時間の使い方をもう一度見直して、限りある時間を大切に

受験生の夏休み、この夏をどのような時間にしたいと考えていますか。夏休みをどのように過ごしたかは、夏休み明けの学校生活に現れます。授業に臨む態度が変わったり、ノートの内容がさらに工夫されたり、小テストへの取り組み方が一層真剣になったりなど、目や表情が変わり、少しずつ”受験モード”になっていきます。

比較的時間のある夏休みに皆さんに考えてほしいことがあります。それは、“時間の使い方を客観的に見直してみる”ということです。一日の中に、「勉強に確実に取り組める(取り組む)時間」、「勉強以外に必要な時間(ごはんやお風呂、自主練の時間など)」、「少し自由に使える時間」などがあると思います。それをグラフにして目で確認してみてください。実際に目で見てみると、時間は限られているという認識が湧いてきて、少し無駄にしている時間や、根詰めすぎているところなどが見えてきます。私は、ただやみくもに長時間取り組んだり、睡眠時間を削って延々勉強したりするのはあまり効率的ではないと感じます。それよりも、自分はしっかり寝なければ、効率が悪くなるとか、朝のうちが集中しやすいとか、小間切れに区切ってしたほうがよいとか、自分に合う時間の使い方があると思うので、「自分の感覚」を大事にして、長い夏休みを効率よく過ごしてほしいと思います。



忙しい中でも、頑張りました！ドラゴンテスト満点者！

6月から隔週で朝学習の時間に5教科の小テストを始めました。その名も『ドラゴンテスト』！！テストに向けて、こつこつ取り組む姿が見受けられました。初回から気をぬくことなく取り組み、見事全教科満点を獲得した15名を紹介します。

さん	さん	さん	さん	さん	さん
さん	さん	さん	さん	さん	さん
さん	さん	さん	おめでとう！！\(^O^)/		

高校新聞ができあがりました！

高校1日体験が中止になってしまい、高校へ行くことはできませんでしたが、タブレットやパンフレットを使い、見応えのある新聞が出来上がりました！気になった高校があれば、ぜひ体験入学に行き、学校の雰囲気を感じてみましょう。

左：組 さん
右：組 さん

< 8月行事予定表 >

日	月	火	水	木	金	土
22	23	24	25 前期後半 始業日 集会・学・水234	26 木1234授水5	27 夏休み課題 テスト 国教社理英	28
29	30	31	9/1 道水23456	2 期末考査 社美英理音	3 期末考査 総技・家体国教	4



8月25日(水)の連絡

1限 集会 2限 夏課題の回収・生活点検 3限 水2
4限 水3 5限 水4

※生活点検は前髪や横髪、爪など、一回で合格できるよう整えてきましょう。

< 持ってくるもの >
夏の生活・25日締め切りの課題・上靴・弁当・水筒・授業の道具

8月25日(水)に元気に会えるのを楽しみにしています！みなさん、よい夏休みを!(^^)!

1、定期テストのやり直し

テキストを買わなくてもまずできること。一年生から三年生までの定期考査の問題を保管していると思いますが、その問題、全て解けますか。先生たちは、その単元で大切な受験も少し意識した問題を作るよう心掛けています。だからテストはその単元の中で特に重要な部分でできていると思ってください。ぜひ、一冊ノートを準備して、間違ったところだけでも解きなおしをしてみてください。×を○に変えたり、わからないところを自分で納得することの連続だと思います。

2、塾や自分で購入したテキストをぐしゃぐしゃになるくらい使い込む

せっかく行かせてもらっている塾は、形だけ行っているでは意味がなくなります。あれもこれもとなるかもしれませんが、自分の手元にあるテキストをまずしっかり活用して、ラインを引いたり、付箋をつけたり、

3、やってる気になっていないか考えよう

よく皆さんの口からきく言葉で「やってる割には点数がとれない」という言葉です。定期テスト前はおそらくみんな真剣にやっているはずですが、量が全く足りていない、定着していない、本当のところわかっていないなどが挙げられます。厳しい言い方のように聞こえますが、もし今解いている問題と同じような問題がもう一度現れた時に、自信をもって解けますか？量をやっていく中で、容量がつかめてきたりするので、

4、細切れの時間を上手く使おう。

ずっと座ったまま集中力が続くということはあまりないと思います。だから、25分刻みの5分休憩や、分刻みの教科を変えたり、ちょっと休憩を入れるなどして、ゲームやスマホはちょっと大変な課題が終わった後に触るだけにしましょう。